

平成21年4月9日

=地域と保護者の皆様へ=

横浜市立富士見中学校
校長 下川 秀樹

平成21年度 4月号 富士見中 学校だより
『小さな富士見に 大きな誇り』



校庭の南側にある桜の木も満開になり、本格的な春を迎える季節となりました。

4月6日(月)は、本校の着任式・始業式、そして午後から平成21年度、第48回入学式を行いました。

今年は、新1年生67名、2年生76名、3年生65名の合計208名で本年度をスタートしました。ここ数年にない、活気を取り戻し、平成21年度をスタートしました。これもひとえに、地域の皆様はじめ卒業生の皆様のお陰だと感謝しています。今年も教職員一同、力を合わせて信頼される学校づくりに努めていきますので、よろしくお願い致します。

さて、今年の入学式では、中学生としての心構えとして、次のこととお話しました。

一つめは、富士見中学校生としての生活のルールを身に付けて、共に大切な仲間として生活を送って欲しいということです。

二つめは、本校の伝統をしっかりと受け継ぎ、そして新しいものを作っていく為に、失敗を恐れず、様々なことに積極的に挑戦をして欲しいということをお話しました。また、中学生の時代は、人生の基礎づくりの時代であること。この3年間は、心身共に大きく成長する時期であると共に、自分のこと、友達のこと、勉強の事などで心が揺れる多感な時期でもあること、この時期に心配事や悩み事ができた時は、遠慮なく身近にいる先生に相談して欲しいとお話しました。

最後は、自分自身を伸ばす秘訣である「素直な心」について触れました。勉強でもそうですが、部活動でもそうであること。先生の話のしっかりと受け止め、吸収できる人が伸びる人ですよ！という話をしました。心構えとして「素直な心をもった人になろう」という言葉を贈りました。

規範意識の育成について

規範とは、一定の社会や集団の中で、その社会や集団を、よりよく高めていく為にその成員一人ひとりに求められる行為の価値基準のことです。従って、これらは学校のみならず家庭や地域社会においても起因する問題であるし、育てられるべき性質のものであります。この規範が学校生活を含めた様々な生活体験の中で内面化され、それを守ろうとする意識が働くようになるとこれが規範意識であると言われております。

学校という集団生活の中で、特に、新1年生は、それぞれが違う小学校から入学し、また、外国からきている友達もたくさんいるので、早く富士見中学校としてのルールやマナーを身に付け、相互に理解し合い、友達に対する思いやりの心や仲間として仲良く過ごして欲しい、また、1日1日を大切に「めあて」のある毎日・生活を送って欲しいとお話しました。

本校では、規範意識の育成に力を入れていますが、子ども達には、折に触れ今日の様な場面を利用して規範に対する話や取り組みを行っています。これからの3年間、素直な心でスクスクと成長して欲しいと願っています。ご家庭でもご協力下さい。

6日から新年度の始まりです。20日(月)5校時には、さっそく授業参観があり、PTA総会や学年懇談会、委員総会などがありますので、学校へ遠慮なく足をお運び下さい。また、今月は家庭訪問も予定しています。ご協力方よろしくお願い致します。

ご退職・転出・転入の教職員

新年度は、別れと出会いの季節です。ご承知のように、次のように教職員の異動がありました。転出の方々ありがとうございました。転入の方々、よろしくお願い致します。

お元気で!

養護教諭 大河内美幸 日吉台中学校へ

教諭 角田 裕介 横浜総合高等学校

教諭 清水 幸子 荏田南中学校

AET フレッド ラモス

技能吏員 高井 盛光 退職



よろしく!

養護教諭 内田あけみ 領家中学校より

教諭 日置 圭介 新採用

教諭 佐藤 義将 新採用

教諭 難波 希三子 菅田中学校より

教諭 児玉 芳子 浦島丘中学校
より

AET ダスティン キャシディ

技能吏員 藤本 輝幸 並木第一小学校
より

